



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより (NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第64号
令和8年10月20日
主任 社会教育主事
大谷彩・井上大輔

★ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ★

特集 令和8年度PTA・教育行政研修会！



PTAと行政(県教育委員会や市町村教育委員会)が一緒になって「子どものためにできること」を考えるPTA・教育行政研修会がありました。

7月に、中部管内の3地区(吾川地区・高岡地区・土長南国地区)で行われた会についてまとめて紹介します。

★「ネット社会で育つ子ども どう向き合う」★

スマートフォンの普及やデジタル化といった大きな社会の変化の中で、子どもたちが「自分の生活リズムをどう整えるか」という非常に難しい課題に直面していることが考えられます。今回の研修では「単に知識を学ぶ場」ではなく、身近な事例を交えながら、家庭で明日から実施できる具体的で効果的な対応策を、皆さんと一緒に考えていきました。

他人事ではない!高知に潜むネット犯罪・非行のリスク

事例1: SNSで知り合った「大好きな人」に会いに行く中学生

危険信号①: 突然の秘密主義と「会う」ことへの執着

家庭でのサイン - 事例1より

- ・「勝手にSNSを見ないで! プライバシーの侵害や!」と激しく怒る。
- ・「ダメと言われても絶対に大阪(県外)に行く」と泣き叫ぶ。

見知らぬ人と会うことへのリスク

SNSで知り合う → 実際に会う約束 → 誘拐・犯罪被害

相手は大人。言葉巧みに誘い出し、深刻な被害に遭う可能性があります。

警察の視点 - 隠されたリスク

未成年者略取誘拐罪
子ども本人が「自ら望んで」県外へ会いに行ったとしても、相手の大人には誘拐罪が成立します。

【重要】近年、女の子だけでなく、男の子の性被害も急増しています。

(スライドにつきましてはGemini Notebook使用)

事例2: 高知県のワースト1「喫煙」と「大麻」への移行

高知の深刻な現実: 「VAPE」から始まる大麻への入り口

高知県は青少年の「喫煙」による補導数が非常に高いという、全国平均と異なる深刻な特徴があります。

入り口: 電子タバコ (VAPE等)
ニコチンが無くても、「煙を吸って吐く」刺激そのものが薬物へのハードルを下げる(ゲートウェイドラッグ)。

移行: 大麻への接触
SNS等で簡単に手に入る環境。

親が知るべき隠語

- ・大麻の呼び方:
「フロッコリー」
「葉っぱ」
「チョココ」
- ・症状の呼び方:
「フリル」
(目が充血する、意識が朦朧とする状態)

近年は女の子だけでなく、『男の子の性被害』も全国、そしてこの高知でも急増しているようです。『うちの子は男の子やき大丈夫』という思い込みは、今すぐ捨てる必要がある、というお話がありました。

高知の十代の間で、大麻は隠語で「フロッコリー」「葉っぱ」「チョココ」などと呼ばれ、SNS等で簡単に取引されています。もしも、家庭内で少しでも『おかしい』と感じたら、迷わず相談してほしいというお話でした。

吾川地区では高知県警察本部少年サポートセンターの副所長 佐々木美紀さん、土長南国地区、高岡地区には同センターの主監 菅原知花さんを講師に招き「ネット社会で育つ子ども どう向き合う」をテーマにお話をいただきました。地域・学校・保護者の皆さまと同じ目線で、スマホの向こう側にある高知のリアルな『現実』と、家族を守るための防衛策について一緒に考えました。

事例3:荷物を運ぶだけの甘い罠(闇バイト)

裏に潜む事実



- ・ブランド品を急に持ち始めたら要注意。
- ・「自家金持ち出し(家のお金を勝手に取る)」の可能性。
- ・「本当はやめたいけど……」と泣き出す背景には、深刻な脅迫が存在します。

「闇バイト」の蟻地獄：引き返せなくなる構造



「闇バイト」は近年大きな社会問題となっています。高知県の子どもが、県外の闇バイトに巻き込まれた実例は複数あるということでした。少年サポートセンターからは「警察は組織を挙げてあなたとお子さん、そして家族の身の安全を全力で守り抜く」という強いメッセージを伝えてくださいました。

防衛策

「子どもたちを守るために家庭で今日からできること」
「温かい対話」と「ルール作り」

防衛策①：対話の主語を「You (あなた)」から「I (私)」へ

命令・非難の「You-Message」



- ・「(あなたは) なんで片付けないの!」
- ・「(あなたは) スマホばかり触るな!」

結果：子どもは反発し、心を閉ざす。

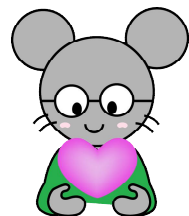
心配・愛情の「I-Message / 愛メッセージ」



- ・「(私は) あなたが巻き込まれないか心配なんだよ」
- ・「お母さん (私は) はあなたの体が大切だから、早く寝てほしいんだ」

結果：保護者の愛情が伝わり、対話の糸口が生まれる。

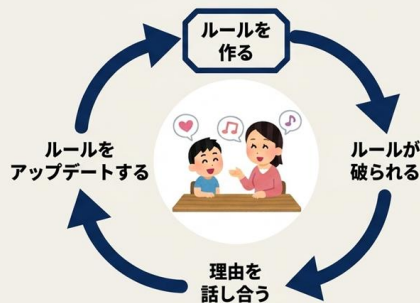
感情的に責めるのではなく、保護者を主語にして愛情を伝えてください。



親子間で、感情的に相手を責めるのではなく、「(私は)あなたが巻き込まれないか心配なんだよ」「お母さんはあなたの体が大切だから、早く寝てほしいんだ」と保護者を主語にして、愛情を伝える対話法をおすすめします。

防衛策②：ルールは「守らせる」以上に「話し合う」もの

「ルールは破られるもの」という前提に立つことが重要です。



守れなかった時に、ただ叱るのではなく「どうして守れなかったか」「どうすれば守れるか」を親子で話し合う。

この「話し合いのプロセス」そのものに、子どもを犯罪から守る価値 (コミュニケーションの確立) があります。

ルールは「守らせる」以上に「話し合うもの」。守れなかったときに「どうして守れなかったか」「どうすれば守れるか」を親子で話し合うプロセスそのものに価値があります。



全体会では、高知県教育委員会の各課より、次の説明がありました。
(次のページには、各課より説明のあった内容から少し紹介します。)

・「第3期教育等の振興に関する施策の大綱・第4期高知県教育振興基本計画について」
～第2次改定のポイント

・「高知のキャリア教育について」
地域への理解と愛着を育む「ふるさと高知のキャリア教育」

・学習時間と生活リズムで子どもはもっと変わる
全国学力・学習状況調査質問紙より

高知県の特色ある教育施策や学校の取組、子どもたちのがんばる姿、
幼児教育の大切さ、教職の魅力などを発信しています！

チャンネル登録
フォローを
お願いします！



高知県教育委員会
公式Vtuber
土佐 まなぶ

公式

✧ 高知県教育委員会事務局 ✧

YouTubeチャンネル とさまざまなチャンネル



とさまざまな
チャンネル

Instagram



令和8年3月に
公式Instagramを
開設しました！

Instagram

問合先 県教育政策課 教育企画担当 TEL 088-821-4731

高知県 第3期教育大綱・第4期基本計画（第2次改訂）



高知県教育委員会
ホームページ

- ・子どもにとって基本的生活習慣の大切さとは
- ・PTAと連携した「地域とともに育む高知愛」プロジェクト

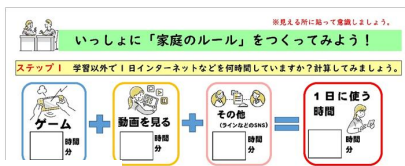
・自転車の安全教育推進に向けて



家庭と連携したルールづくり

学校と家庭が一体となって、
子供の学習習慣や基本的な生活習慣の
確立ができるよう、家庭学習の重要性
やゲーム、SNS等の利用について

啓発チラシを全家庭に配付



「見直そう！インターネット等の
利用時間」リーフレット



ステップ2 インターネットの利用時間についてお家の人と話し合っ、ネットトラブルにまきこまれないようにするために、家の中のルールをつくりましょう！

[illegible]

「見直そう！インターネット等の利用時間」リーフレット
高松県教育委員会事務局 人権教育・児童生徒課 令和7年7月

「見直そう!インターネット等の利用時間」リーフレット
高知県教育委員会事務局 人権教育・児童生徒課

人権教育・児童生徒徒課から昨年七月に、「家庭のルールをつくってみよう」というチラシを配付しております。まずは、ルールをつくることから始めることが、家庭での学習時間を確保するために大切だと考えています。守れなかったら、「どうして守れなかったのか」「どうしたら守れるのか」親子で話し合うことを大切にしたいですね。

☆たくさんの感想ありがとうございました。☆



○家庭環境、保護者の関わりが大切だと感じた。子どもとたくさん話をしようと思った。

○近年の教育の動向等を知れ、いい機会になった。自分も今後、子どもと接する中で、学習、生活面のあり方について考えていきたい。

○保護者の方々は、多かれ少なかれ、今の子どもへの教育がこれでもいいのか悩んでいます。今回のように事例を通し、自分の子育てに向き合える時間が必要だと思いました。

○時代は変わっても大事なものは親子で会話することだな、と思いました。とてもいい勉強をさせてもらいました。ありがとうございます。

○子どもたちの現状が分かったのですが、子どもたち自身にも発信できる機会があればいいなと思いました。例えば、「ルールを作るにしても家族で話し合って決めているのか」「アイ・メッセージで伝える手法を伝える」「たばこ・大麻の啓発」等もしてもらいたいと思いました。

○少年サポートセンターの話がとても良かった。今の若い子の課題と共に、それに向き合う姿勢や心の余裕、親子の信頼関係の必要性を考えることが出来た。



○ディスカッションの時間をもう少し長くしてほしい。グループディスカッションしたことを発表する時間があってもよいと思いました。

○子どもの成長は、体よりも心が大切だと思っています。普段から子どもたちと意義を問わず会話を多くもちたいと考えました。

○様々なアンケートの結果より、家庭での生活状況によって学習に集中できなかったり学力向上につながらないということを再確認した。学校と家庭が連携したルール作りが大切で有効的であると思っただ。ありがとうございます。

○自分の子どものことを真剣に考え、逃げず、目を背けずに考えることの大切さを改めて感じました。

○自分の知らなかったこと、情報として知れたことが良かった。グループ協議では、同じ年代の子どもをもつ保護者の方の話も共感や役立つ手法など知る機会にもなった。

○子どもとの関わりを見直すきっかけとなりました。ありがとうございます。

※講演内容、グループ協議の方法（席・時間・内容）、会場までの案内等について、ご意見ご感想もありました。いただいたご意見は来年度に向けた検討課題にします。



担当より

令和8年度PTA・教育行政研修会への参加・ご協力ありがとうございました。

PTA関係者は毎年変わりますが、参加してくださった多くの方から、毎年、上のような肯定的な感想を聞くことができます。各地区での会の様子など、単Pの会でも話していただくとともに、来年度への参加呼びかけもしていただけたらと思います。

この「かわら版」でも紹介させていただいた内容を、各地域のPTA活動に、ぜひご活用ください。

中部教育事務所管内の社会教育活動を発信します

この「社教NFTかわら版」はみなさんの地域や社会教育活動を応援する情報誌です。社会教育に関わる活動情報がありましたらぜひお知らせください。

連絡先 高知県教育委員会事務局 中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167 E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp

